資料１

東日本大震災５周年を契機とした情報発信の強化
（「東北復興月間」の実施）について

平成 28 年５月 27 日
復　興　庁

東北復興月間の具体的な取組

（１）被災地

・岩手県：６月 18 日（土）@盛岡市　ホテル東日本
「いわて復興未来塾～新たなステージ　復興・創生へ～」

・宮城県：６月 20 日（月）@仙台市　戦災復興記念館記念ホール
「東北復興月間：宮城県特別フォーラム（仮称)」

・福島県：６月 11、12 日（土・日）@郡山市ビッグパレットふくしま
「食育推進全国大会 in ふくしま　チャレンジふくしま！おいしくたのしく健康長寿～復興のあゆみ。全国のみなさまへ感謝の気持ちを込めて～」

（２）東京における復興庁主催イベント（参考資料１、２）

①　「東日本大震災５周年復興フォーラム～新たなステージ　復興・創生へ～」

６月６日（月）12 時半～17 時@千代田区イイノホール&カンファレンスセンター

・　「震災から５年の歩みと将来への展望」をテーマに３県知事の鼎談
・　「新たなステージ 復興・創生へ～「民」から見た教訓と今後の課題～」をテーマに、各界有識者によるパネルディスカッション
・　「防災・まちづくり」、「産業となりわいの再生」、「福島情報発信」、「コミュニティ」について、それぞれテーマ別の分科会を開催

②　交流ミーティング in 東京～「新しい東北」を創る人々～

６月 11 日（土）～28 日（火）@千代田区アーツ千代田 3331

・　「若者」DAY、「アート」DAY、「女性活躍」DAY、「新しい東北」マルシェ、「新しい東北」写真展などを設定し、多様な主体と連携した様々なイベントを展開し、復興への前向きな取組を情報発信。

（３）伊勢志摩サミット及び関連会合を活用した国際的な情報発信
（参考資料３）

○　震災５年の節目として内外の注目が集まり、サミットの議長国を務める本年、伊勢志摩サミット及び関連会合の全会合においてパネル展示、資料配布による情報発信、被災地産品の提供等により、風評の払しょくに向けた取組を行っている。

○　中でも、被災地仙台での開催となった財務大臣・中央銀行総裁会合においては、パネル展示や資料配布といった取組に加え、復興大臣・３県知事・仙台市長による合同記者会見、歓迎レセプションにおける、復興大臣からの感謝のスピーチ、復興大臣３県食材を使った料理や加工食品のプレスや代表団への提供など、多岐に亘る情報発信の取組を行った。また、財務省、仙台市により、Ｇ７閣僚及び中銀総裁の被災地視察が実施された。

○　また、外務大臣会合、農業大臣会合、エネルギー大臣会合、環境大臣会合の共同声明において、①福島第一原発の廃炉・汚染水対策の進展を歓迎すること、②輸入規制が、科学的根拠に基づく国際ルールと調和的であるべきこと、③福島に関する正確な国際的理解を高めるため、日本が行っている科学的な情報発信等を歓迎すること、④Ｇ７は除染に関する日本の取組を歓迎すること、などが盛り込まれた。

東北復興月間イベント

参考資料１

東日本大震災 5周年 復興フォーラム

～ 新たなステージ　復興・創生へ ～

2016年6月6日(月)
12:30~17:00

平成28年6月を「東北復興月間」とし、東日本大震災から5年の節目を迎えたこの機会に、震災の経験・教訓を広く共有し、同時に復興の現状を国内外に正確に情報発信することを目的に、東日本大震災5周年復興フォーラムを開催します。

場　所　**イイノホール&カンファレンスセンター**

〒110-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4F
TEL:03-3506-3251 [受付時間 平日9:00~18:00]

入場料　**無料**

フォーラム 13:00~15:15[12:30開場](予定)

要事前申込(申込は締め切りました)
※分科会は申込不要(裏面参照)

総合司会：生島 ヒロシ 氏

○主催者あいさつ

○岩手県・宮城県・福島県知事鼎談

テーマ「震災から5年の歩みと将来への展望(仮)」

岩手県、宮城県、福島県の各知事が、生島ヒロシ氏とともに、震災から5年の歩みを振り返り、これまでの苦労や、支援に対する感謝のエピソード、知事が描く被災地の未来の姿などを語ります。

岩手県
達増 拓也 知事

宮城県
村井 嘉浩 知事

福島県
内堀 雅雄 知事

○パネルディスカッション

テーマ「新たなステージ　復興・創生へ
～「民」から見た教訓と今後の課題～(仮)」

これまで復興に携わってきた各界の有識者が、この5年間の経験や得られた様々な教訓を伝えるとともに、被災地が抱える復興の課題への対応策や、これからの復興・創生に向けて積極的に取り組んでいきたいことについて、活発なディスカッションを行います。

ファシリテーター……　パネリスト……

伊藤 元重 氏
復興推進委員会委員長
学習院大学教授

今村 文彦 氏
東北大学災害科学国際研究所所長

木村 恵司 氏
(公社)経済同友会 震災復興委員会委員長
三菱地所㈱取締役会長

田村 太郎 氏
(一財)ダイバーシティ研究所代表理事

引地 恵 氏
㈱WATALIS 代表取締役

ダニエル・カール 氏
タレント

復興支援ミニコンサート

音楽を通してそれぞれ復興活動に携わる3名の音楽家によるクラシックのミニコンサートを行います。

5年間の様々な東北復興の思い出を音楽で振り返るとともに、これからの明るい東北の復興・創生を思わせる名曲を演奏いたします。

ノエ・乾 氏
ヴァイオリニスト

五島 史誉 氏
ピアニスト

小川 里美 氏
ソプラノ歌手

復興庁
Reconstruction Agency
新たなステージ　復興・創生へ

主催：復興庁

お問い合わせ：「東北復興月間」イベント事務局　TEL: 03-6280-0120

東日本大震災 5周年 復興フォーラム

～ 新たなステージ　復興・創生へ ～

分科会

申込不要・参加自由

分科会		時間		内　容
防災・まちづくり	防災・まちづくりに関するパネルディスカッション、パネル・映像展示、ミニプレゼンを行います。	15:30～17:00	パネルディスカッション	○パネルディスカッション「今後の災害に備えた将来への提言(仮称)」 コーディネーター：今村 文彦 東北大学災害科学国際研究所所長 パネリスト　：山本 正徳 宮古市長／野田 武則 釜石市長 菊地 啓夫 岩沼市長／阿部 秀保 東松島市長／須田 善明 女川町長 長島 忠美 復興副大臣
		12:30～17:00	パネル・映像展示	○先進的な防災・まちづくりの取組の紹介 ・宮城県多賀城高等学校 ・コンパクトシティいしのまき・まちなか創生協議会　阿部 紀代子 八幡家代表取締役社長 ・東北大学災害科学国際研究所　佐藤 翔輔 助教 ・日本財団ソーシャルイノベーション本部　青柳 光昌 上席チームリーダー ・国際航業株式会社営業本部　加藤 清也 グリーン・コミュニティ担当部長 ・今野梱包株式会社　今野 英樹 代表取締役社長・防災ジオラマ推進ネットワーク
		14:20～15:20	取組発表(ミニプレゼン)	
産業となりわいの再生	被災地域企業の成果、大手企業による被災地域支援の取組、復興庁の産業復興の取組、また、被災地で活躍する女性企業家エリアを設け、女性経営者の活躍も紹介します。	12:30～17:00	ブース展示	復興庁、被災地域企業、大手企業、女性企業家にテーマを分けたブース展示
		15:30～16:40	取組発表(ミニプレゼン)	上記ブース出展者によるプレゼンテーションを実施し、各団体・企業の復興に関する取組内容等について発表
福島情報発信	福島復興や放射線量の現状など、福島の「今」をお伝えするとともに、福島でご活躍の方々によるパネルディスカッションを行います。	15:30～17:00	パネルディスカッション	テーマ「若者にとって魅力ある福島を目指して」 冒頭御挨拶：若松 謙維 復興副大臣 コーディネーター：開沼 博氏　立命館大学特別招聘准教授 パネリスト：芥川 一則 氏　福島工業高等専門学校副校長 和田 智行 氏　株式会社 小高ワーカーズベース 代表取締役 須藤 愛美 氏　有限会社 南会津高原ファーム 代表取締役 西崎 芽衣 氏　立命館大学産業社会学部(元一般社団法人ならはみらい事務局員)
		12:30～17:00	パネル・映像展示	福島の復興の現状、食の安全安心、放射線量、観光PR等
		13:00～13:30	取組発表(ミニプレゼン)	立命館大学産業社会学部4回生西崎 芽衣 氏によるミニプレゼン
コミュニティ	復興公営住宅でのコミュニティ形成や、コミュニティ形成を支える人材の育成について議論を深めます。また、被災地で進むコミュニティ形成の取組も紹介します。	13:00～14:00	パネルディスカッション	テーマ「復興公営住宅でのコミュニティ形成」
		14:15～14:45	基調講演	テーマ「共生社会基盤としてのコミュニティ形成」 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部　社会リハビリテーション学科 教授　藤井 博志 氏
		15:15～16:45	パネルディスカッション	テーマ「コミュニティ形成を支える人材の育成、活用」
		12:30～17:00	パネル展示	被災地でのコミュニティ形成に取り組む方々による取組発表(ミニプレゼン)や実演等
		13:10～14:15	取組発表(ミニプレゼン)	

場　所

イイノホール&カンファレンスセンター

〒110-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4F

・東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ケ関」駅 C4出口直結
・東京メトロ 丸ノ内線「霞ケ関」駅 B2出口 徒歩5分
・東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分
・東京メトロ 有楽町線「桜田門」駅 5番出口 徒歩10分
・JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩10分
・都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7出口徒歩3分

復興庁
Reconstruction Agency
新たなステージ　復興・創生へ

主催：復興庁

お問い合わせ：「東北復興月間」イベント事務局　TEL: 03-6280-0120

参考資料２

東北復興月間

入場無料

交流ミーティング
in 東京

新しい東北を創る人々

東日本大震災から５年。
東北では、復興における「新たな挑戦」が数多く生まれています。
そうした取組に携わる方々に焦点を当て、復興の現状、被災地の「今」をお伝えします。

「若者」DAY

「アート」DAY

「女性活躍」DAY

「新しい東北」マルシェ

「新しい東北」写真展

2016年6月 開催カレンダー

★「若者」DAY ★「アート」DAY ★「女性活躍」DAY
★「新しい東北」マルシェ ★「新しい東北」写真展

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 ★★
12 ★★★	13 ★	14 ★	15 ★	16 ★	17 ★	18 ★
19 ★★	20 ★	21 ★	22 ★	23 ★	24 ★	25 ★
26 ★★	27 ★	28 ★	29	30	1	2

日時 2016年 6月11日(土)～28日(火)

場所 3331 Arts Chiyoda
(アーツ千代田 3331)
東京都千代田区外神田6丁目11-14

復興庁
Reconstruction Agency
新たなステージ　復興・創生へ

主催：復興庁
お問い合わせ：「東北復興月間」イベント事務局　TEL: 03-6280-0120

新しい東北

12日「若者」DAY　体育館

全国の小中高校生を対象とした「新しい東北」作文コンテストの表彰式や、被災地の高校生等による復興の取組発表を行います。また、日本の将来を担う若者との意見交換や、全国から集った大学生によるワークショップなども行います。

19日「アート」DAY　体育館

仮設住宅でのサイン展示の取組の紹介等により、アートが復興に果たした役割や、復興で得られた教訓などを発信します。気鋭な写真家等によるトークショーや、実際にアートを通じた取組を体験できるワークショップも開催します。

26日「女性活躍」DAY　体育館

被災地で活躍する女性により、復興と女性の関わり、女性ならではの視点による復興の取組、自身のキャリアを考える女子学生等に向けたメッセージ等について発表します。被災地だけでなく、全国の地域活性化を考える際に、女性が活躍するために必要なこと等について来場者と一緒に考えるパネルディスカッションも開催します。

11~12日「新しい東北」マルシェ　コミュニティースペース

被災地で「ストーリー」を持って復興に携わっている生産者等をお招きし、東北のおいしいもの・特産品等を販売します。また、出展者と来場者が交流できるエリアも設けます。

11~28日「新しい東北」写真展　3331ギャラリー

一般の方々から写真公募を行い、被災地で「新たな挑戦」に取り組む「人」にフォーカスを当てた写真展示を実施します。

その他企画

18日(土)10:30~16:00

被災地でのはたらき方を体験しよう！

震災前後にキャリアをスタートさせ、今なお震災復興に関わる20代の若者たち(自治体職員、中間支援団体職員、被災地での起業者など)によるパネルディスカッションや、被災地で企画されている職業体験等のプログラムの紹介等を行います。

21日(火)14:00~17:00(昼の部)、18:30~20:30(夜の部)

東京から、東北の今とつながる

震災の影響を受けながらも地元で根付き継続している東北の伝統芸能を体験するワークショップ・パネルディスカッションを実施します(昼の部)。また、東京から被災地に関わっている方々を招き、トークセッションや交流会を開催します(夜の部)。地域活性化センターのHPから参加の申込ができます！

24日(金)14:00~16:00

第1回 現場で役立つ復興論文大賞 表彰式・記念フォーラム

公益財団法人地域創造基金さなぶりでは、復興や震災に関わる調査・研究成果についての論文公募を行いました。大賞を受賞した方への表彰を行うとともに、「研究成果から浮かび上がる、次の5年の課題や挑戦とは」と題した記念フォーラムも行います。

25日(土)16:30~17:00

地域の魅力を映像で発信する Creative Summer Camp 2016

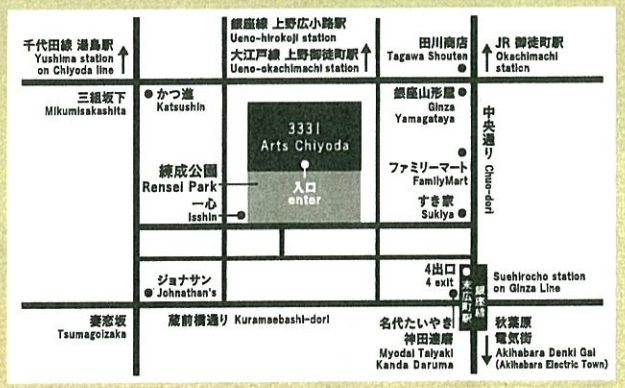
my Japanが送る、夏の映像制作型キャンププログラムの講師を務めるCMディレクターの中島信也氏(東北新社)と、河尻亨一氏(銀河ライター)をお招きし、"現地で感じたことをどう映像に落とし込むのか？またそれが地域活性化にどう貢献するのか？"という内容のトークセッションを行います。

27日(月)14:00~17:00

東京ダイアログ2016 ~復興と日常の課題の間で考える支援のかたち…企業×NPO

被災地では復興に向けての課題と日常生活を営む上での課題がオーバーラップしてきており、企業やNPOによる支援のかたちも変わってきました。3県の連携復興センターと企業担当者との対話(ダイアログ)の場をつくります。定員50名。お申し込みは、みやぎ連携復興センターのHPから(5月下旬開始予定)。

※上記の企画は現在の予定であり、今後変更の可能性があります。



3331 Arts Chiyoda(アーツ千代田 3331)

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14

- 東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分
- 東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分
- 都営大江戸線上野御徒町駅A1番出口より徒歩6分
- JR御徒町駅南口より徒歩7分
- JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分

（参考資料3） G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議における復興情報発信の模様

3県知事・仙台市長との共同会見（5/19@仙台国際センター）

歓迎レセプションでの大臣挨拶（5/19@仙台国際センター）

被災3県食材を使った料理の提供（5/18～21@岩沼屋（プレスセンター））

被災3県の加工食品等の提供
（5/18～21@佐勘（メイン会場）、岩沼屋（プレスセンター））